

「阪谷の今を考える座談会」第8回 ご報告

開催日：令和6年3月8日（金） 午後7時～

場 所：阪谷公民館 2階 大広間

参加者：17名

テーマ：統合後の阪谷小学校の利活用について



- 率直な感想や日頃思っていることを自由に言い合おう!!



【座談会の目的やルール】

[目的]

- 阪谷地区の今について、みんなで思っていることや考えていることを自由に話し合っ、そこから地域の問題解決のヒントになるようなことがないか、阪谷の望ましい将来像とはなどについて考えましょう。
(※みなさん、地域のいろいろな団体や会で役などをされているとは思いますが、ここでは、一個人として思いや考えを言っていただければと思います。)

[ルール]

- この会で結論をとることはしません。みなさんの意見は貴重なご意見として主催側で参考にさせていただきます。ですので、他者の意見に同調するのは大いにOKですが、否定することはやめましょう。

[その他]

- この会で出た意見は、貴重な意見として公開（氏名等は公開しません）することにご了承ください。

【座談会（第8回）で出た感想、意見等】

[3テーブルに分かれて、テーブルごとで下記テーマ等について意見交換]

主なテーマ：統合後の阪谷小学校の利活用について

第1テーブル

- ◆ 地域のスポーツイベントの会場として、グラウンドと併せて教室も休憩所や観覧所として利用できないか。地元の者が利用できないのでは意味がない。
- ◆ 保育園として耐震性の整っている学校舎を活用すべき。現在の保育園は耐震性に問題があり、園舎としても狭い。そういったことから他園に就学させるという地域の保護者の方もいると聞く。
- ◆ 野菜の加工施設、また、料理教室などのイベント会場として利用できないか。現状の学校の中に加工場として都合のいいものが多い。
- ◆ クロスカントリーの指導会場として活用できないか。クロスカントリーの競技力を高めるためにも近くに練習場所があるといい。
- ◆ 素泊まりの安価な宿泊施設として観光客の利用や学生の合宿施設として活用ができないか。

第2テーブル

- ◆ 避難所として残してほしい。一昨年の大雨の時のことを思うと、災害時に地域の方々が避難する場所が必要である。校舎の中の構造も知っているし、地域の方の顔もわかるので安心感がある。体育館も避難所活用ができる
- ◆ 介護施設（サービス）として、日中地域の高齢の方が集える場所にしてほしい。
- ◆ 子育てに関する施設がいい。阪谷出身の方が農繁期に実家の手伝いに帰ってきた時などに、赤ちゃんの一時預かり所や子育てクラブなどとして利用できる保育施設にしてほしい。阪谷の子ども同士の交流場所にもなるし、保育士など地域の資格者が働ける場所にもなる。
- ◆ スポーツジムに活用できないか。簡単なスポーツジムになれば、フレイル教室や健康講座などにも利用できる。地区スポーツ協会の会議に出た時、阪谷にも若い世代の方がたくさんいらした。そういった若い世代の父親が参加でき、子育てに関しても父親同士で交流ができる場所にもなるのではと思う。

- ◆ 専門学校（例えば、トリマー、ネイル、カフェ、有機野菜の勉強など）に活用できないか。全国から若者が入ってくるような何かの専門学校になれば、地域が賑わい、ネットワーク社会でもあるなか地域が栄えるのではないかと思う。以前、石川県の野々市市に研修で行った時、街に学生が多くあられ栄えていた。橋爪地区にある白山ワインの宿泊施設はユースホテルとして泊り客が来ている。
- ◆ 市の財政的なことも考え、残せないならいっそのこと取り壊しというのも一案であるが、その場合、やはり災害時の避難場所がないのは問題である。

第3テーブル

- ◆ 現在、公民館は、普段は放課後子ども教室や各行事、講座など、災害時には避難所としても使用されているが、避難所などとしては2階を利用しなければならないのはネックとなる。学校は平屋で部屋も多いのでそういったものに使用するのに適していると思う。
- ◆ 子どもを中心として地域の方が集い、つながるような地域コミュニティ施設が望ましい。保育園も学校舎の方へ移動させるとともに、現在の放課後子ども教室、また、ご高齢の方も集うことができ、それらの年代がつながるような施設がいいと思う。
- ◆ 例えばピアノやダンスなど子どもの習い事がそこでできると親としては嬉しい。
- ◆ 各地区で行っているサロンも人口が減っていくにつれてそれぞれ単独で行うのが困難になっていくと思われる。そういった高齢者の方々が集えるような地域のサロンとして利活用できないか。
- ◆ 当面の短いスパンでの利活用ではなく、この先も見据えての発展的な利活用が必要。
- ◆ 星空保護区が認定された今がチャンスであり、観光面でも活用し、地域の中のつながりだけでなく、そこから地域の外とのつながりも生まれるようになるといい。

【参加者から後日寄せられた感想、意見】

- ◆ 保育園、放課後子ども教室、お年寄りの方の福祉施設を同じ場に置けるといいなと思う。全国でも縦のつながりをもつことでお互いが学び合える施設が増えている。
- ◆ 地区の方に先生になってもらって、いろいろな習い事やものづくりができるのは本当に理想である。今は、遠すぎて仕事をしながらの送迎が難しいため、子どもに我慢させていることもある。外部からの先生ではなく、地域の方（お年寄りの方）が先生になっていただけると理想である。
- ◆ マルチな世代が楽しめるような工夫、お年寄りの町大野にならないような工夫が必要。

体育館は公民館と連携して残してほしい。

- ◆ 施設については、行政だけで行わず、アイデアを住民から広く聞き、最終デザインは商業デザイナーなどのプロに任せてほしい。行政色を抑えたおしゃれで誰もが利用できる場所にしてほしい。
- ◆ 次のようなポイントは網羅する必要があると思う。
 - ・人が常に出入りする工夫
 - ・マルチな世代が興味をもつ工夫
 - ・地域外の人でもぜひ来たくなる工夫
 - ・星のふるさと、食育のふるさと、地域の人材を生かす工夫
 - ・有料と無料の面を活かす工夫
 - ・緊急時の利用価値
 - ・おしゃれなデザイン
- ◆ 息子、娘に聞いた意見は次のとおり。
 - [高校生の息子]
 - ・サバイバルゲームができる場所で思いきり遊べるようにしてほしい。
 - [小学生の娘]
 - ・マルチキャンプ場や泊まれるところにしてハンモックやアスレチックのある場所。
- ◆ 地域の人が集える場所として学校を使うのは良いことだと思う。
- ◆ 座談会で話はしているが、30～20代の方の意見が聞けるとさらにいいと思う。座談会に参加するのが難しい方でも意見を聞けるようネット（QRコード等による）を利用した意見収集ができるといい。
- ◆ いろいろな人が集う場所になる場合、それに伴う交通手段をどうするかも考慮する必要がある（地域内でのお助けタクシーなど）。